

小平市公共施設マネジメント出前授業ニュース

平成28年度 VOL.1

【授業名】これからも住み続けたい！小平のまちづくりを考える。

●小平第一中学校

開催日：平成28年11月16日(水曜)、11月18日(金曜)

学級：3年A組、3年B組、3年C組、3年D組

出席者：142人



将来の人口減少、少子・高齢化など、公共施設を取り巻く環境が変化中、市ではこれからの公共施設のあり方等について取組む公共施設マネジメントを推進しています。

公共施設マネジメントは長い期間で取組む内容であることから、これからの時代を担う生徒達に知ってもらうことを目的に、出前授業を行いました。



授業の様子

授業の概要

ステップ1

地方自治について

国から独立した団体が、地域住民の意思に基づいて、教育や福祉など生活に身近な仕事を行うことが、地方自治であることを知る。地方公共団体である小平市に任せるということではなく、地域の住民が参加する姿勢が大切であることを学ぶ。

ステップ2

これからの課題

人口減少・少子高齢化、施設の老朽化、建替え時期の集中、財政バランスの悪化を受け、これらの課題に対応する公共施設マネジメントについて知る。公共施設マネジメントについて、他市の事例を紹介し、イメージを持つ。

ステップ3

検討・発表

将来の課題に対し、生徒自身も地方自治の担い手であることや、小平市に住み続けたいと思える魅力を創出することを念頭に、「学校」という公共施設で何かできないかを考え、発表する。

裏面につづく



主なアイデア



- ・学校に図書館、公民館、保育園など、他の公共施設を複合化させることで、財政的な負担を軽減する。
- ・学校が使用していない時間帯の教室、体育館、プール、屋上などを地域に開放して、施設を有効活用する。また、民間企業に貸し出して、賃貸料を得る。
- ・部活動の指導を高齢者や地域の人をお願いすることや、お祭りやフリーマーケットなど学校を活用し、地域の方と一緒にイベントを行うことで、地域との交流を促進する。
- ・新しい校舎へ建替える際に、バリアフリーにし、生徒が減ってきた時に老人ホームに転用することができるようにしておく。
- ・学校の壁などのペンキの塗り替えをイベントにして、地域の方と一緒にやる。



主な感想



- ・私たちが住んでいく「まち」について、全てを行政などに任せるのではなく、自分たち自身でつくっていくことが重要だと思った。今後の未来は自分たちにかかっているのだと感じた。
- ・今抱えている課題は、簡単には解決できないけれど、一人一人が考えれば時間がかかっても解決できると思った。
- ・小平市の将来にもいろいろな課題があることを知った。自分の将来ばかりを気にしがちだが、「まち」の将来が明るくないと私たちも大変だなと思った。
- ・公共施設についてよく知らなかったけれど、知ることができ、さらに学校という施設で何ができるかを考えることが面白かった。
- ・出前授業を通じて、実際に市役所で仕事をしている方のお話を聞くと、説得力があって良かった。
- ・地方自治についてよく理解できた。この授業で考えたアイデアが、小平市に採用されるかどうか気になった。

一中の皆さん、どうもありがとうございました。
皆さんと一緒にこれからの公共施設について考えることができ、とても有意義でした。



【お問合せ】

小平市 企画政策部 行政経営課

〒187-8701 小平市小川町2-1333

TEL 042-346-9756 FAX042-346-9513

メールアドレス gyoseikeiei@city.kodaira.lg.jp